

SF 乱学講座 「諏訪力～縄文からものづくりまで」 レジюме

フリープランナー/コピーライター 石埜穂高

2011. 06. 02.

1. 諏訪の概観

- ・ 地勢：フォッサマグナと中央構造帯の交点、日本一標高の高い都市圏、本州島のヘソ＝諏訪湖
- ・ 社会：人口 21 万（諏訪市、岡谷市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村）に社長が 2 千人以上
- ・ 産業：セイコーエプソンを核に精密・光学・電子産業が高度集積。製糸業からの転換。醸造業も。温泉湧出量全国 3 位の観光都市でもあるが、サービス業は下に見られる。CATV 普及率 98%
- ・ 文化：諏訪大社（上社本宮・前宮、下社春宮・秋宮）と御柱祭を核とする。諏訪人気質は理屈っぽく、在野・反骨の精神に富む。古語を残す諏訪弁（ごしたい、あらびる、ズク??）

2. 縄文の力

- ・ 縄文のビーナスや水煙土器に代表される、豪華・多様な土器・石器を持つ中期文化の華
- ・ 前期初頭に東海系・南関東系・北関東系の文化が合流、山岳民族 3 千年の聖地を築く？
- ・ 縄文研究は在野の研究者が牽引。藤森栄一（縄文農耕論）、田中基（縄文図像学）ら

3. 諏訪信仰の力

- ・ 御柱と「小宮の御柱」、伊那・北信・安曇に遍在する御柱＝合祀を許さなかった諏訪信仰
- ・ 「精霊の王」ミシャグジの広がり：関東甲信越に遍在する自然信仰・石棒/樹木信仰

● 世界に遍在する柱立て

- ・ ネパールの柱祭＝ビスケートジャートラ、マツチェンドラジャートラ、インドラ・ジャートラ【映像】
- ・ ベトナム中部高原の柱祭、韓国の鳥柱、中国の柱祭＝ミャオ族の柱祭、トン族の鼓楼【映像】
- ・ クリスマスツリー、メイポール、門松、新盆の高灯籠

● 日本列島の歴史に通底する柱立て

- ・ 縄文の柱立て（三内丸山、真脇）、弥生の柱立て（吉野ヶ里）、弥生の土器絵画
- ・ 出雲大社の岩根柱・心の御柱、伊勢神宮の心の御柱、祇園祭の山鉾

● 諏訪信仰の深層

- ・ 世界樹の思想/十日思想、田中基さんの宇宙図
- ・ 葛井の清池、蛙狩り、御頭祭、ミシャグジ……
- ・ 諏訪の本地垂迹説＝盆地を曼荼羅に見立てた神長官守矢満実

4. ミシャグジとものづくり

● ミシャグジの広がり

- ・ 御頭御社宮司総社、各地のミシャグジ社、湛え木、縄文の石棒
- ・ 石棒と石の地藏、ご神木と一木造り仏像、大黒様
- ・ 前宮鶏冠社、御室社と泉野の穴倉、能楽翁の舞と蹴鞠
- ・ 御所前の出産土器

● 現代のミシャグジ

- ・ 出産土器～縄文のビーナス～ウーパールーパー～「カワイイ」キャラクターたち～守矢諏訪子
- ・ 日本に特有のロボットキャラクターとヒューマノイドロボットたち
- ・ 地鎮祭～新車交通安全祈願～小惑星探査機「はやぶさ」
- ・ ミシャグジと近代システムの結合＝明治の基幹産業「諏訪製糸」
- ・ 世界初の人工補助心臓、サンメディカル「エヴァハート」

5. 諏訪力のメッセージ

● 井の中の蛙力

- ・ 諏訪清陵高校の校是＝自反而縮雖千萬人吾往矣＝常に自分の頭で一から考える習慣＝三澤勝衛
- ・ ものを考えない「大海のクラゲ」の愚かさ＝ポピュリズムとしての経済至上主義、グローバリゼーション

● 土人の力

- ・ 御柱男＝土人＝自然神の手ごたえを知る現代人
- ・ いまだに近代人であろうとする愚かさ＝天地自然を軽んじる科学至上主義、唯一神教的世界観

● ズクの六千年王国

- ・ 世界遺産の東西比較：熊野古道（紀伊山地の霊場と参詣道）とエルサレム（旧市街とその城壁群）
- ・ 縄文以来の自然信仰に立脚して近代化を歩んだ諏訪＝ズクの六千年王国
- ・ 均一化・集中化の時代から分散化・多様化の時代へ：天然ガス利用、八ヶ岳山麓の水車発電……
- ・ 自反而縮雖千萬人吾往矣＝反均一化・反集中化の精神＝21世紀思想へ！

以上